

製品名: c-Jun ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe85237**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC, IP
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.62mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む TBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000, ICC 1:50-1:200, IP 1:10-1:20
分子量	Calculated MW: 36 kDa; Observed MW: 48,43 kDa

抗原情報

遺伝子名	c-Jun
別名	Transcription factor AP-1; Activator protein 1; AP1; Proto-oncogene c-Jun; V-jun avian sarcoma virus 17 oncogene homolog; p39
遺伝子 ID	3725.0
SwissProt ID	P05412
免疫原	ヒト c-Jun の合成ペプチド

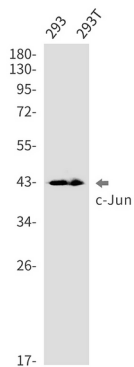
背景

c-jun は、エンハンサーヘプタマーモチーフ 5'-TGA[CG]TCA-3'を認識し結合する転写因子です。HIPK3 によってリン酸化されると NR5A1 の活性を促進し、cAMP シグナル伝達経路の刺激によるステロイド産生遺伝子の発現増加につながります。

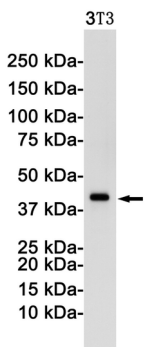
研究分野

TGF- β シグナル伝達経路、MAPK シグナル伝達経路

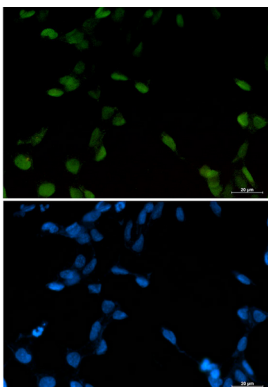
画像データ



c-Jun 抗体を使用した 293、293T 溶解物中の c-Jun のウェスタンブロット分析。



c-Jun 抗体を用いた 3T3 ライセート中の c-Jun のウェスタンブロット分析



c-Jun 抗体と DAPI (青) を使用した 293T 内の c-Jun (緑) の免疫細胞化学分析。